



市では、持続可能な社会を目指してSDGsの取り組みを進めています。今号では、世界共通の17のゴール（国際目標）のうち、ゴール5の達成に向けた市の取り組みや一人一人ができることなどを紹介します。



ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう

ジェンダーとは、身体的な性別に対し、社会的・文化的につくられる性別のことです。例えば「男性は外で仕事をし、女性は家事や育児をする」など性別により役割を求めることをいいます。

日本では、以前と比べ女性の社会進出は進んできましたが、世界的にみると、女性の管理職が少なく、給与格差もあり、ジェンダーギャップ指数(国ごとの男女格差を数値化したもの)が先進国の中でも低い状況です。

また、世界では女性が学校に通えなかったり、女兒が結婚させられる「児童婚」の文化が今も根強く残っていたり、女性というだけで差別を受けている場合があります。

ゴール5「ジェンダー平等を実現しよう」では、ジェンダーに関係なく、誰もが平等な機会を得て、自分の能力を発揮できる社会をつくることを目指しています。

達成に向けた市の取り組み

市では「第3次男女共同参画社会推進計画（令和4～8年度）」に基づき「すべての人が輝くまち」の実現を目指す取り組みを行っています。

【主な取り組み】

◆男女共同参画に向けた意識づくり

男女共同参画市民情報誌「ゆっパル」を発行します。

◆DVに関する意識の啓発

DV防止に関するパンフレットを作成し、成人式などで配布します。

【一人一人ができること】

私たちが普段何気なく生活している中でも、家事の負担が偏っているなど、身近なところにジェンダー格差があります。

家族みんなが気持ちよく毎日を過ごすことができるよう、家族で話し合い、協力して家事を分担してみるのも取り組みの1つです。

まずは、家庭や職場などで、これまで当たり前だと思っていた役割分担について考え、気付いたことから取り組んでみるのが大切です。



part 9

北里大学獣医学部文化会北里しっぽの会愛好会です！

問北里大学獣医学部北里会執行委員会情報局 ☎ 234371

こんにちは。北里大学獣医学部文化会北里しっぽの会愛好会です。

私たちはペットの殺処分を減らすことを目的に、動物を飼えなくなってしまった人から依頼を受けて、動物の保護、里親探しのお手伝いをしている学生ボランティアです。

今回は、飼い主のいない猫をこれ以上増やさないための活動として、TNRや地域猫活動について紹介します。

※依頼は場合によってはお断りすることもあります。ご了承ください。

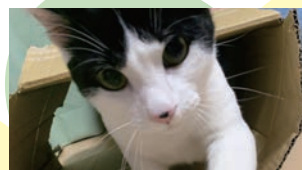
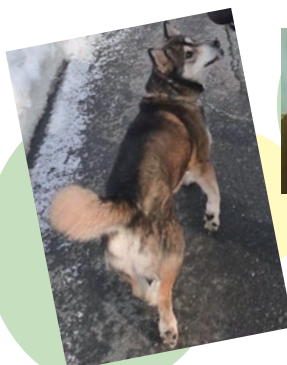
TNRとは、捕獲(Trap)、避妊去勢手術(Neuter)、リターン(Return)の英語の頭文字から取られたもので、猫を手術して元の場所に戻す活動のことです。その後、地域住民の協力のもと、責任をもって餌やりや糞尿の片づけなどの管理を行い、「野良猫トラブル0」を目指し活動することを地域猫活動と呼びます。

県では、令和4年度から地域猫活動を推進しており、活動のネックとなっている手術費用を負担しています。手術費用が完全に免除されるのは東北初の試みで、県民であればどなたでも活用いただけます。

また、北里しっぽの会では殺処分を無くそうと取り組んでいます。殺処分の多

くは野良の子猫です。殺処分を減らすには野良猫や外で飼われている猫を減らす必要があります。

猫がかわいそうで餌付けをしている人や、動物愛護に関心のある人は地域猫活動をぜひ選択肢の一つとして考えていただければと思います。



里親募集

Twitter、Instagramで
ご確認ください

北里しっぽの会

検索

市と動物のために頑張ります。よろしく申し上げます。